

作目名	りんご
-----	-----

<露地栽培>

○技術体系設定の前提条件

(1) 対象地域

飛騨（標高 500～800m）

(2) 立地条件

① 気象条件

年平均気温が9℃以上12℃以下で、4～10月の降水量が1,300mm以下の地帯が適する。また、強風・凍霜害・積雪等の気象災害のおきやすい場所は避けるか、対策を立ててから開園する。

② ほ場条件

降雨時の排水を良くするため、6度以下の傾斜に整地し、全面全層土壌改良を行う。
 好適土壌条件 有効土層深：40cm、地下水位：1m以下、硬度（山中式）：20mm以下、pH：5.5～6.5、置換性CaO：200～300mg/100g、置換性MgO：20～30mg/100g、置換性K₂O：15～20mg、塩基飽和度：60～90%、当量比Ca/Mg：10以下、Mg/K：1.5以上、有効態リン酸：10mg/100g以上

(3) 樹齢別栽植本数と目標収量（10aあたり）

樹 齢	1	5	10	15	20	25	備 考
目標収量(kg)	—	2,000	3,500	4,000	3,500	3,000	育成期間4年
栽植距離：本数	4×2m：125本～4×3m：83本						

○生育過程

月・旬	1月			2月			3月			4月			5月			6月			7月			8月			9月			10月			11月			12月			備 考 (品種)
	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下				
露地栽培																																					つがる ふじ

○土づくり・施肥

①土づくりの方法

たい肥等の種類	投入量	備考
完熟堆肥	3 t	投入する前に、土壌分析を実施し、適正投入量を算出し投入する。

②樹齢別施肥基準（成分及び現物／10 a 当たり・kg）

樹齢（年生）	2	3	4	5	6	7～	注 意 事 項
成 分 量	窒 素	6	7	8	9	12	<ul style="list-style-type: none"> 草生栽培では、栽植年次に牧草用の肥料として、窒素・リン酸・カリを各成分で15 kg 程度を全面施用する。
	磷 酸	5	6	7	8	10	
	カ リ	6	7	7	8	11	
苦 土 石 灰	120	120	120	120	120	120	
F T E	4	4	4	4	4	4	
完 熟 堆 肥	3t	3t	3t	3t	3t	3t	

③成木園の施肥基準量（成分及び現物／10 a 当たり・kg）

施 肥 時 期	施 肥 量					注 意 事 項
	成 分 量			苦土石灰	F T E	
	窒 素	磷 酸	カ リ			
基 肥（11月上旬）	9	7	8	120	4	<ul style="list-style-type: none"> 堆肥の施用ではその成分量を考慮して、施肥量を加減する。 春肥は融雪後できるだけ早く施用する。 樹勢が強い園では、9月の追肥を減量または施用しない。
追 肥（3月下旬）	3	3	3	—	—	
追 肥（9月下旬）	3	3	3	—	—	
合 計	15	13	14	120	4	